



6月

# えがおまんまる！なかまるっこ

こども未来局 保育・子育て推進部  
中丸子保育園  
令和7年6月1日

まだ梅雨入り前なのに天気予報ですでに‘夏目’という言葉が聞かれるようになりました。暑い日もあれば、肌寒さを感じる日もあり、大人も子どもも体調管理に気をつけていきたいですね。天気の移り変わりが多いこの時期は、色々な遊びを取り入れながら雨の日も楽しめるよう工夫し過ごしていきたいと思います。

## ～6月の予定～

9日（月）サッカー教室（4．5歳児） 18日（水）わっしょいまつり  
10日（火）園医健診（3．4歳児） 26日（木）プール開き  
12日（木）歯科検診 27日（金）誕生会（幼児）

いよいよ  
プール、湯水遊びが  
始まります。  
詳しくは後日配信の  
お知らせをご覧ください

☆試食会のお知らせ：今年度は9月6日（土）に行います



## 園庭遊びの様子（乳児クラス）



### 1歳児（ひよこ組）



ひよこ組の子どもたちはみんな外が大好き！靴を履かせてもらおうと嬉しそうに園庭に向かい、砂遊びや探索をしたり、ボールやフープを追いかけて遊んでいます。最近では大きいクラスのお兄さん、お姉さんの遊びが気になるようで、虫を見せてもらったり、マルチパーツの基地?!に入れてもらったりと異年齢交流も楽しんでいます。

### 2歳児（こあら組）



戸外遊びが大好きなこあら組の子どもたち。最近夢中になっていることは「虫探し」です。幼児のお兄さん、お姉さんがバケツとシャベルを持って虫探しをしている様子を見て、真似っこをして一緒に楽しんでいます。また砂場では砂遊び用のアイスクリームのコーン型の容器を使ったアイス作りが大盛り上がり。上手に出来ると嬉しそうな笑顔が見られます。お友だちとのやりとりも楽しいようで、「たべる？」「どうぞ」等の会話も増え、すっかりアイスクリーム屋気分です。

6月は2歳児こあら組が担当しています

## 玄関装飾

～そらまめ～

お昼のメニュー『そら豆のホクホクサラダ』に使う、そら豆の皮むきをしました。

『そらまめくんのベッド』の絵本が大好きな子どもたちは「皮の中がふわふわだね」とおしゃべりしながら皮むきを楽しんでいたため、今回はそら豆制作することにしました。ふわふわはタンポ筆に白い絵の具を付けて表現しました。

顔は、シールを貼ったりクレヨンで描いたりし、かわいらしいそらまめくんが完成しました。ぜひ、見てくださいね！



## つばやき（3歳児うさぎ組）



園庭で遊んでいる時に青虫を見つけ、クラスで飼うことにしたうさぎ組。

Mくん 「あおむしはどうやって黄緑色になるのかな？」

Nちゃん 「黒い皮がむけるんだよ！」

Mくん 「早く黄緑色にならないかなあ…」

毎日飼育ケースをのぞきながらあおむしの成長を楽しみにしています♪





## 異年齢交流『なかよしデー』『にこにこデー』



中丸子保育園では、今年度も園の特色の1つである“異年齢活動”に力を入れて取り組んでいます。毎週金曜日に実施している幼児クラスの『なかよしデー』は、主にうさぎ組（3歳児）・きりん組（4歳児）・ぞう組（5歳児）の幼児3クラスが参加し、設定した3～4つのコーナーの中から、子どもたちが自分で遊びたいコーナーを自ら選び楽しく過ごす中での“自然”な異年齢交流を行なっています。この『なかよしデー』には、月ごとに担当保育士がおり、子どもたちの興味や関心、日頃の遊びの様子等、目の前にいる子どもたちの姿からコーナー作りを考えているため、毎週設定される遊びの内容についても注目してくださいね！

また、これからの予定として、7月に3・4・5歳児がクラスの枠を外した異年齢でのトリオ・ペアグループを決め、トリオ・ペアと一緒に活動する機会を作っていきます。そして2月には、異年齢グループでコーナー遊びの準備をし、中丸子保育園のみんなで楽しむ“なかよしランド”を作り上げていく予定です。楽しみにしててくださいね。

乳児クラスも昨年度同様、ひよこ組（1歳児）とこあら組（2歳児）と一緒に遊びのコーナーを設定したり、散歩に出かけたり等、普段の保育の中で無理なく異年齢交流を楽しむ『にこにこデー』を取り入れていきます。

保育園における“異年齢活動”は、遊びを通して年下の子どもに対する思いやりの心や年上児への憧れ等が育っていく素敵な時間です。異年齢活動での子どもたちの姿や成長については、毎回玄関に速報を掲示し紹介していきますので、是非ご覧ください。



## 発達相談支援コーディネーター通信 No. 1

5月に配信しました「子育てでこんなことはありませんか？」の子育て相談に関するお知らせはご覧になっていただけましたでしょうか。私たち、発達相談支援コーディネーターは、園内だけでなく、区内の保育園とも保育の現状や課題を出し合い、より子どもたちが心地良く園生活を送ることができる様に、会議や講演会、研修等に参加して、保育の質の向上を図っています。

そこで、先日発達相談支援コーディネーター会議の中で受講した元保育士で臨床発達心理士が講師の講演会から学んできた困った時の対応策の子育てワンポイントと園の今後の予定をお伝えしたいと思います。

### ～急な変更等で「イヤイヤ」パニックになってしまった場合の対応～

- ・「怒ってしまう」「泣いてしまう」辛さに共感
- ・何がこういう状況を作ったのか子どもと話し合う
- ・問題を明らかにする
- ・その上でどうすればよいのか提案する

共感⇒問題提起⇒提案  
(目線は子どもに合わせて)

説得を強いられると否定されていると感じ、気持ちのコントロールは難しく、逆に共感すると肯定されている安心感が得られ、次第に思考の折り合いがついていく。この様な対応の仕方も、ぜひお試しください。

Colorful は発達相談支援コーディネーター通信として、今後も子育てのヒントをお伝えしていきたいと思います。

◎今後の予定：7月11日（金）園内おしゃべりほっとタイム

（異年齢での保護者同士で子育てについて語り合う会）

※詳しくは後日お便りを配信します。